

小出地区まちぢから協議会 令和7年4月運営委員会 次第

日時：4月17日（木）午後7時00分から

場所：小出地区コミュニティセンター 大会議室

1 開会

2 小出地区まちぢから協議会 会長あいさつ

3 議事

（1）部会以外の団体からの活動報告、お知らせ等

（2）部会長の選任について

（3）各部会等の活動状況について

- ・コミュニティセンター管理運営委員会
- ・社会福祉部会
- ・子ども育成部会
- ・防災部会
- ・地域活動部会
- ・県道七曲り整備部会
- ・下寺尾遺跡部会
- ・環境保全部会
- ・広報部会

（4）その他

4 今後のスケジュール

- ・令和7年定期総会 5月15日（木） 19:00～ 小出コミセン大会議室
- ・5月運営委員会 5月15日（木） ※総会終了後 小出コミセン大会議室

5 閉会

小出地区まちぢから協議会 令和6年度 部会長の選任（案）（規約第19条関係）

任期2年（令和5年度～令和6年度）、ただし、選出団体の代表変更や補欠により選任された場合は、残任期間とする。（規約第25条関係）

※敬称略

	部会長名	氏名
1	子ども育成部会	佐藤 幸子

○部会名 社会福祉部会

○部会長 五十嵐清夫

○スローガン（標語）	健康長寿の地域づくり
○課題	未病改善・健康増進に向けた事業活動
○短期的取り組み又は目標	1. 買い物（移動）支援に関する件 2. 相州小出七福神巡りに関する件 3. 「福祉の出前サービス」に関する件 4. その他
○直近の活動状況（前回の報告からの進展・事業予定）	部会：3/26（水）19：00～（第1会議室） 1. 買い物（移動）支援に関する件 A班 予約型乗り合いバスの取り組みについて イ. 予約型乗り合いバ利用のリーフレット作成費の決算について ロ. 大きい地図は、乗り合い場所が追加になったので、作り直してから配布となる。R7年3月までに都市政策課で作成予定 B班 移動支援について イ. ふれあいの森からの移動支援の協力について 包括支援センターわかば主催の地域ケア会議 を4/24に開き、ふれあいの森とカトレアホームの施設長と話し合いを行う。 2. 相州小出七福神巡りの件 ① 令和6年度 相州小出七福神巡りについて 特定事業の決算報告と事業の纏めを説明した。 アンケートの結果報告 3. 「福祉の出前サービス」に関する件 イ. 3月9日（日）11：00～自治会連合会で説明した。 ロ. 歌声サロンの自治会へ再度説明する資料の内容検討 4. その他 ① 役員改選について ② チームオレンジ主催の花見会を4/3里山で開催する。 次回 4/23（水）19：00～

令和6年年度 事業報告

【これからの小出を考える検討会の運営方針(R4.5.25)の中から】

テーマ	検討会で 取りあげた理由	検討会で挙げられた 取り組みの案	成果 (R4.5～R7.3)	課題 (令和7.4～)
観光	・小出の良さを伝えたい(里山) ・「七福神めぐり」が今期で3回目を迎え、小出地区の目玉イベントとして、さらに認知度を上げて参加者を増やしたい。	・ウォーキングコース(七福神めぐり)の地図を作る。 ・宣伝方法を増して、周知に力を入れる ・年間イベントにする	・参加者数(当日) R2.1.7(火)215人 3.1.7(木)150〃 4.1.7(金)104〃 5.1.7(土)260〃 6.1.7(日)560〃 7.1.7(火)137〃 ・令和6年度は若い世代の参加者を増やす為、スマホスタンプラリーを導入した。83名の参加を得たので初回として成果があった。	・今年は火曜日で学校の始業日と重なり、参加者が少なかったので日曜日に変更が必要。 ・豊かな自然や観光資源をPRし、訪れて頂く機会を創出するためMAPを作成する。 ・スマホスタンプラリーの継続。
高齢化対策	・高齢者が生き生きと輝いて生活できる様に ・高齢化率(R5.4月時点) 小出 37.9% 市内 26.6%	・講座やイベントに多くの人が参加出来るように移動手段を考える。 - また、イベント講座の担い手を育てる。	・「小出の福祉はどうあるべきか」について令和6年度以降のテーマとして【みんなで歌って健康長寿】の運動を進める事になった。	・令和7年度は【みんなで歌って健康長寿】の運動を開始し、定着化を目指す。
買い物難民	・商店がない	・買い物ニーズ把握 ・小出地区は公共交通が整備されておらず、また、面積も広く、店舗、コンビニ、病院、薬局もなく、小出地区以外への買い物、通院等には自家用車を使用しなければならない。	・都市政策課と連携し、「予約型乗り合いバス」の乗り合所の増加・変更したリーフレットを作成した。11/3に各戸配布した。 ・特定事業17万円(R6.11に発刊)	・買い物(移動)支援については引き続き、都市政策課や地域の福祉施設と連携し、継続的に利便性を検討する。

小出地区まちぢから協議会 令和 6 年度

社会福祉部会 (予算書) (決算書)

【令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日】

予算額

単位 (円)

項目	予算額	内 容
補助金	120,000	「相州小出七福神巡り」を活用した健康増進事業【継続】 (認定コミュニティ特定事業助成金)
補助金	170,000	小出地区にて運行されている予約型乗り合いバスの増加を目的とした冊子の作成【新規】 (認定コミュニティ特定事業助成金)
補助金	55,000	健康長寿の地域づくりの為に、歌声喫茶を中心とした 「福祉の出前サービス」を計画 (まちぢから協議会からの補助金)
計	345,000	

決算額

項目	予算額	決算額	内 容
補助金	120,000	112,453	「相州小出七福神巡り」を活用した健康増進事業 を令和 7 年 1 月 7 日に開催した。 残金の 7,547 円は市に返却した
補助金	170,000	170,617	小出地区にて運行されている予約型乗り合いバス の増加を目的とした冊子を、4,500 部作成し 11/3 に全戸配布した。 超過分の 617 円は社会福祉部会で処理した
補助金	55,000	0	健康長寿の地域づくりの為に、歌声喫茶を中心と した「福祉の出前サービス」については、令和 7 年度に延期した。
計	345,000	283,070	

小出地区まちぢから協議会 令和7年度

社会福祉部会 事業計画（案）

【令和7年4月1日～令和8年3月31日】

事業計画

時 期	事 業	内 容
各 月	社会福祉部会の定例会	・毎月第4週目の水曜日 19:00～ 第一会議室で部会を開く
通 期	買い物（移動）支援 A班、B班で継続してテーマに取り組む	・予約型乗り合いバスの利便性を図るため冊子を作成したので、都市政策課や地域と連携し利用者増を図る。 ・地域の福祉施設と連携し、移動支援の活動を継続する。
6～8月	次年度の予算案の申請準備・手続き	・毎年8月までに、認定コミュニティ特定事業助成金の申請手続きを行う 継続事業、新規事業含める ・まちぢから協議会からの補助金についても検討する
通 期	健康長寿の地域づくりを目指して「福祉の出前サービス」を導入する	「福祉の出前サービス」の第1弾として、 【みんなで歌って健康長寿】の運動を展開する。
10月～2月	相州小出七福神巡りの準備と当日の運営	・毎年1月7日をスペシャルデーとして関係者と連携し進めてきているが、今回から第2日曜日とする。 (今回は7回目) ・10月～11月にかけて最終案を纏め関係先へ連絡し必要なものを準備する。 ・当日（1/11）里山公園のパークセンター前で9:30～開会式を行う。
3月	・当該年度の活動の纏めと次年度の取り組み	・当該年度の活動を振り返り、事業内容と決算報告を纏め、次年度の取り組みを部会で協議する。
通 期	その他	・社会福祉部会に関係する内容であれば、他の団体・機関からの要請にも対応する。

子ども育成部会

・市民自治推進課 地域自治担当

活動

1. 子どもの登下校の見守り
2. 通学路の安全確認
3. 学校行事の参加
4. 関係団体の定例会参加(校外役員会、推進協など)
5. 地域団体のイベントの協力

構成メンバー

地域のボランティア 21名

活動目的

- ・子どもたちが安心安全に登下校出来るように見守る

これから

- ・明治安田との連携
危険な場所、人手が足りない場所など応援してくれるとの事

❁小出推進協こんなことをしています

1. 運営委員会を随時行う
2. 青少年育成推進協議会の目的に沿って企画・活動していく
3. 委員研修を行う
4. 推進協だよりを発行する
5. 地域諸団体との交流および協力を推進していく
6. 子ども大会を企画・実施していく
7. その他必要と思われる活動については、運営委員会にはかり活動していく
8. 子どもの安心安全を見守る

<小出推進協とは>

正式名称は、小出地区青少年育成推進協議会といいます。推進協は市内の各小学校区に設けられ、市の教育委員会青少年課の管轄になっています

<構成メンバーについて>

小出地区の小中学校の校長、教員、PTA 役員、各自治会の代表者、各団体の代表者、青少年指導員、少年補導員、推進協推薦者等で成り立っています

<活動目的、活動内容について>

地域に住んでいる人々が協力し合い連携をとりながら、青少年の幸せを願い、活動を進めています

知ってますか？《子どもの街宣言》

推進協では、この宣言を指針とし、地域・学校とともに力をあわせて、活動を行っています

○部会名 地域活動部会 ○部会長 吉 野 久 雄

○スローガン（標語） 住みよい小出にするための活動
○課題 小出地区の人口を増やす取組み
○短期的取組み又は目標 住民のつどいの資料分析 農産物直売所マップの作成
○直近の活動状況 住民のつどい A, B 2グループの意見の分析 4月16日 水曜日 会議で意見交換 農産物直売所マップの作成について 次回の会議 4月 16日 (水) 19時より

○部会名 県道七曲り整備部会 ○部会長 石井 義雄

○課題

災害や交通安全における生活環境事前整備事業の促進

○短期的取り組み又は目標

災害へ備えての事前対策（小出居住者及び近隣居住者の生活・財産を守る）
として、県道 404 号線拡幅整備（小出交差点から堤坂下交差点）促進
促進とは（物事がはやくはかどるようにながすこと。）

○直近の活動状況（前回の報告からの進展・事業予定）

3月27日小出コミセンで柘県会議員・木山市会議員・河野太郎茅ヶ崎担当菊地秘書とメンバー4名で県道 404 号線拡幅整備（小出交差点から堤坂下交差点）意見交換を行った。

今後においても継続的に意見交換を行うことで双方確認した。

又県道事案であるが、茅ヶ崎市道路管理課等に状況説明をしていくことが、必要との意見が出された。（早い段階で茅ヶ崎市に行く異動時期と重なる）

○部会名 下寺尾遺跡部会 ○部会長 宇尾野政徳

○課題課題 遺跡の価値をより多くの人々に知ってもらう、博物館、観光協会、その他関連団体との連携

○短期的取り組み又は目標

下寺尾官衙遺跡群と環濠遺跡を保存活用し、地域の活性化に繋げる

○直近の活動状況（前回の報告からの進展・事業予定）

- 1、 下寺尾廃寺跡公有地巡視
4月の巡視報告、ゴミは無くきれいな状況、北側、膝丈まで伸びてきている、周囲の草も伸びてきている、コーンが3本倒れている。
- 2、 大岡祭パレード準備、大人10名、子ども8名参加予定、古代衣装については山梨県博物館より借用（官吏3着、女官2着、古服1着）、市長参加については村越（重）さんより秘書課に確認する。当日の雨対応、連絡網確認、当日の集合時間車確認。銅鐸加工村越さん担当。
- 3、 3月18日市長との面談要旨（別紙参照）、市庁舎中庭で文化祭を行うことについて、環境フェア（11月16日予定）に参加可能か、市民自治より連絡をいただき、遺跡部会としては連絡をいただいた後、参加を決定する。遺跡の活用に、バーチャルリアリティの利用も考慮していただきたい、遺跡の整備を市長主導で進めていただきたい旨お願いをした。
- 4、 令和7年度部会活動計画
4月19日開催の浄見寺地元祭り、伽藍パン販売、販売お手伝い4～5名。令和7年度下寺尾遺跡文化祭に関して、公有地での文化祭は10月26日開催予定で準備を進める、部会員高齢化のため、若い人手確保が必要。
催し物、公有地の利用については社会教育課と打ち合わせを行い進める。今年度は川崎橘官衙見学を実現したい。
- 5、 今年度遺跡部会役員については引き続き検討事項とする。

次回遺跡部会令和7年5月13日（火）19時より

○部会名 環境保全 部会 ○部会長 会見 春雄

○課題

ごみの不法投棄による被害と環境破壊をこれ以上進行させない

○短期的取り組み又は目標

- ①ごみの不法投棄に対する対応と再発防止の為の課題抽出
- ②ごみの不法投棄防止の為の啓蒙活動
- ③環境事業センター（以下KJC表記）、警察との連携→監視カメラの有効活用
- ④不法投棄誘発地の荒廃改善活動

○直近の活動状況（前回の報告からの進展・事業予定）

1) 最近の不法投棄の情報交換(映像写真にて確認)

①2/16 ひかりが丘にラック、②2/16 斎場東側路上砂利、③2/28 芹西臼久保地区道路沿いに空き缶の入ったビニール袋、④3/4 大谷通りから冠木方面に左折、川を渡って直ぐの坂の途中右側、衣類の入った衣装ケース2ヶ・ダンボール箱・ビニール袋、⑤3/5 県道小出中央通り下寺尾の下り坂途中左側の山林内に大型ゴミ、⑥3/7 県道小出中央通り上記場所から約50m先の路上にコンビニゴミ入りビニール、⑦3/7 斎場通り久組エリア内の産廃放置場所から約20m東側の道路左右にハンディタイプ消火器2本と一斗缶（液体と刷毛入り）、⑧3/7 斎場を出て左側直ぐの道路より一段上の空地に土嚢袋一杯の工業用部品類、⑨3/11 斎場通りを南に、下馬地区入り口の手前に生活雑貨満杯の半透明袋、⑩3/13 芹中自治会館から北に約100m左側路端、紙・金属製品入り土嚢袋、⑪3/15 芹西通り石井園手前を北側に上って里山公園に抜ける細い道沿いの斜面に業務用のガス台。合計11件

*年度末も有ってか大量発生

2) 部会活動紹介

- ・小出小4年生が描いてくれた不法投棄抑止ポスター設置の立会い、鈴木園所有地(2枚)、県道小出中央通り白峰寺坂上部、古知谷会長所有地(2枚)、4年生全員と教師が来所してポスターの設置に立会った。土地オーナー鈴木武勝氏、FM茅ヶ崎・田中氏、KJC金子氏、部会長が不法投棄防止について児童に語りかけた。
- ・「部会報」編集会議、3月中の発行を目標に、杉山編集長を中心に記事の配置を検討。
- ・3/13 皆楽荘裏の倉庫整理の為、ラックを3台設置。利用部会の協力で収納品の整理ができた。市防災対策課所有の倉庫共用許可が下り、堀江副会長の招集にて利用団体で整理することになった。
- ・監視カメラ設置の際にカメラを入れておく箱及びケースを作成中（相田部会員）。

3) 県設置の監視カメラ盗難の件

- ・芹東市川園入口に設置していた県提供の監視カメラが3/6~7日の未明にかけて、コード切断、カメラカバーが壊されてカメラを盗まれた。

4) 環境事業センターからの連絡事項

- ・ダミーカメラ10台を小出地区に貸出可能とのこと、希望を纏めることになった。

6) その他

- ・部会名入りジャンパーの配布
- ・令和6年度総会について、5月17日開催予定で準備に入る。
- ・部会で立てた看板の本数が多くなってきたので番号を付けての管理が必要ではないか。又、KJC他が立てた古い看板に汚れや傾きが目立つのでメンテナンスを心掛けたいとの意見があった。

*次回定例会 令和7年4月19日（土）18時～ 於コミセン第3会議室

○部会名 広報部会 ○部会長 相田 利光

令和 7 年 4 月 17 日

○課題

- ・各機関からの依頼で広報誌の配布作業を主に自治会が行っているが、作業の軽減化を図るとともに小出地区全住民に配布できることを目指す。
- ・ホームページ（ＨＰ）を活用し小出地区まちぢから協議会の活動状況をリアルタイムに提供を図る。

○短期的取り組み又は目標

- ・広報誌の全戸配布における全住民に配布する手段の研究（回覧は非常に難しい）、
- ・ＨＰのアクセスが誰でも簡単にできる方法の研究、
- 部会員がＨＰにアクセスをして、問題点をＨＰ担当部員に報告をし改善を図る。

○直近の活動状況（前回の報告からの進展・事業予定）

- ・駅ピアノ開催が 10 月 4,5 日無事に終了したが、今後の活動は令和 7 年が最後になる見込み
- ・ＨＰの整備要員が 2 人になり更新の整備がスムーズになった。
- ・広報紙の小出地区配架設置場所の確認（各配架設置場所の重なっている個所もある）
 - 茅ヶ崎市の広報紙の小出内地区配架設置場所の確認「9 か所＝176 枚」
 - 市民自治推進課より小出地内区配架設置場所の確認「3 か所＝30 枚」
 - 小出地区コミュニティーセンターより小出地内区配架設置場所の確認「13 か所＝145 枚」
- ・小出地区全戸配布について考える。
- ・小出地区全戸配布等の活動について、まちぢから協議会としての役割について考える。